

令和4年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	家庭	科目名	家庭総合	単位数	3	履修学年・クラス	1C
担当者	使用教材			家庭総合(実教出版)			
学習目標	<p>○人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。</p> <p>○家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>○さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>						
学習方法	<p>○「人の一生と家族・家庭生活及び福祉」、「衣食住の生活の「科学と文化」、「持続可能な消費生活・環境」について、生活の科学的な理解を深め、問題を見出しその課題を解決するための資質と能力を習得できる、実践的・体験的な学習をする。</p> <p>○生活全体において、現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、生活を時間的・空間的な視点から捉えることができる知識と技能を身につける、体験的・総合的な学習をする。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法	
			知	思	態			
前期中間	家庭科を学ぶにあたって 第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族	1節 自分の未来予想図を描こう	○	○	○	【知】自分や、人の一生についての考えをまとめることができ、将来を見通した人生設計への課題を見つることができる。 【思】ライフステージの特徴と課題について知り、自分の将来についてキャリアや生活設計を具体的に考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【態】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて情報収集や消費行動の検証ができ、意思決定の過程と消費者の権利と責任、その重要性を理解し、知識を身につけている。消費生活の課題を認識し、家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 【思】意思決定の過程について、主体的に考え、判断することができる。多様化する問題点や解決策を考え、判断することができる。 【態】消費者と自覚し、消費や環境について積極的に理解しようとする。	・授業の取組 ・学習ノート ・学習プリント ・小テスト ・考査	
		2節 これからの人生をデザインする	○	○	○			
		1節 自立と共生	○	○	○			
		2節 ライフキャリア	○	○	○			
前期末	第9章 消費行動を考える	3節 共に生きる家族	○	○	○	【知】日本の食文化や食生活について理解し、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思】地域の食文化を調査し、内容をまとめることができる。栄養と食品の特性と調理との関係を科学的な思考で、食事づくりの判断ができる。食生活の課題を発見し、解決について考えをまとめることができる。 【態】食文化や食生活に関心を持ち、食生活について科学的な視点を持って、意欲的に改善・向上に努めようとする。 【知】社会福祉、社会保障制度について知識を深めている。 【思】生活と関連付けて地域の課題を調査し、解決する考えをまとめることができる。 【態】社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動への関心をもち、参加しようとしている。	・授業の取組 ・学習ノート ・学習プリント ・小テスト ・実習作品 ・レポート ・考査	
		4節 家族に関する法律	○	○	○			
		1節 消費行動と意思決定	○	○	○			
		2節 消費生活の現状と課題	○	○	○			
	第6章 食生活をつくる	3節 消費者の権利と責任	○	○	○			
		4節 ライフスタイルと環境	○	○	○			
		1節 人と食物のかかわり	○	○	○			
		2節 私たちの食生活	○	○	○			
		3節 栄養と食品のかかわり	○	○	○			
		4節 食品の選び方と安全	○	○	○			
第5章 社会とかかわる	5節 食事の計画と調理	○	○	○				
	6節 これからの食生活を考える	○	○	○				
後期中間	第7章 衣生活をつくる	1節 支えあって生きる	○	○	○	【知】衣生活文化や衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。 【知】高齢者・高齢社会、社会的制度・しくみを理解し、地域社会の役割、福祉の重要性について理解できる。 【思】高齢者の自立した生活や高齢社会の課題について、自分の考えをまとめることができる。 【態】高齢社会、高齢者について積極的に知り、関わろうとしている。 【知】生命の尊さ、子育ての意義を理解し、心身の発達段階や、子どもを取巻く環境や福祉について理解できる。接し方、衣食住に関わる技術を身につけている。 【思】子どもの生活やとりまく環境、子育て環境や地域社会や国の支援策や課題について、情報収集し、まとめることができる。 【態】子どもをとりまく状況について、課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 【知】安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識し、実生活に役立てることができる。 【思】安全な住まいや、快適な住環境の実現のための課題を見つけ、その課題解決策を考えることができる。 【態】住文化や機能、住空間の計画や住環境に関心を持ち、快適な住まいづくり、住生活の創造に意欲的に取り組もうとする。 【知】家庭経済・国民経済などのしくみを理解し、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思】経済社会と家計との関係を考え、収入・支出・預金に適切な考えを持ち、判断ができる。 【態】経済的自立を考え、経済のしくみや家計について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画に意欲的に取り組もうとしている。	・授業の取組 ・学習ノート ・学習プリント ・小テスト ・実習作品 ・考査	
		2節 共生社会を生きる	○	○	○			
		第4章 高齢者とかかわる	4節 ライフスタイルと環境	○	○			○
			1節 人と衣服のかかわり	○	○			○
			2節 衣服の素材の種類と特徴	○	○			○
			3節 衣服の選択から管理まで	○	○			○
	第3章 子どもとかかわる	4節 持続可能な衣生活をつくる	○	○	○			
		5節 私たちがつなぐ衣生活の文化	○	○	○			
		6節 衣服をつくろう	○	○	○			
		1節 高齢社会に生きる	○	○	○			
		2節 高齢者を知る	○	○	○			
		3節 高齢者の自立を支える	○	○	○			
		4節 高齢社会を支えるしくみ	○	○	○			
		1節 子どもとは	○	○	○			
後期末	第8章 住生活をつくる	2節 子どもの発達	○	○	○			
		3節 子どもの生活	○	○	○			
		4節 子どもをはぐくむ	○	○	○			
		5節 子どものための社会福祉	○	○	○			
		1節 人間と住まい	○	○	○			
		2節 住まいの文化	○	○	○			
	第10章 経済的に自立する	3節 住まいを計画する	○	○	○			
		4節 健康に配慮した快適な室内環境	○	○	○			
		5節 安全な住まい	○	○	○			
		6節 持続可能な住まいづくり	○	○	○			
生活設計	1節 暮らしと経済	○	○	○				
	2節 将来のライフプランニング	○	○	○				